

地域自主組織 『かくわの郷庄内』  
拠点と集落を明るく！

【拠点施設のイルミネーション】

かくわの郷庄内は旧庄内小学校を拠点施設とし、事務所を構えています。

児童玄関が道路より少し奥に配置されていることから、夜は真っ暗になり、児童の間では「お化けが出る」との噂も出ていました。

そこでこの怖いイメージを払拭するために、花好きのボランティアの方に玄関先の花壇を整備していただいたのを契機に、玄関周りにイルミネーションの飾り付けを行いました。作業を終えた昨年12月12日の午後5時30分からは、家族づれの方にも



▲ライトアップされた玄関

参加していただき、イルミネーション点灯式を実施しました。

ところが、その3日後にイルミネーションの飾り付け状況を確認してみると、昼間の3時にも関わらず明かりが点灯しているではありませんか。原因を調べると、電気の周波数の問題と判明しました。西日本は電気の周波数が60ヘルツですが、東日本の周波数である50ヘルツに設定されていたという不具合でした。

次回は明かりの数や種類を増やすなどの、さらなるバージョンアップを図り、このイルミネーションが庄内地区の名物になると同時に、児童



▲きれいに整備された花壇

には楽しく明るいイメージのものになってもらいたいと考えています。

【集落アンケートの実施】

もうひとつ明るくしたいのが集落です。昨年、庄内地区21集落を対象にアンケートをお願いしました。

内容には、区長や役員等の選出方法、集落で実施しているイベントと問題点についての質問を盛り込みました。イベントに関する質問を入れたのは、アンケート結果を情報共有することにより、「他の集落ではこんな行事を開催しているの、自分の集落でもやってみようか」と

思ってもらえれば、集落の活性化に繋がるのではないかと考えからです。毎月何かしらのイベントを開催している集落もありました。実際に行われているものとして、『女性会中心の活動』『研修旅行』『BBQ大会』『懇親会』等がありました。また、伝統行事も『とんど焼き』『しめ縄作り』など様々な『祭り』も多く残っていました。

特に『とんど焼き』は、火にあたれば病気をしない、書初めを燃やして灰が高く舞い上がれば習字が上達する、おき火で焼いたミカンや餅を食べれば風邪をひかない等の言い伝えがあり、昔からの風習で、規模の

大小に関わらず、どの集落でも行われていました。

なお、問題点として挙げられたのは、「高齢化が進み若い人がいない」「集落に対して無関心」「役員をやる人がいない」「次世代の後継者がいない」等がありました。また結果から、各集落で抱えている悩みは、多くのものが共通していることが分かりました。

今後の取り組みとしては、今回のアンケートにより出てきた問題点の解決策等について、かくわ委員会で検討し、その結果を各集落に提案する流れをつくることにより、課題解決の糸口としていただくなど、今後集落に対する支援を考えていきます。

最後に、昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止で主たるイベントが中止となり、自粛の一年でした。今年こそは盛大に盛り上げていく意気込みです。

問 かくわの郷庄内事務局

☎ 0859・57・6123



▲QRコード